

日本学術会議
経済学委員会数量的経済・政策分析分科会議事録
第 24 期 第 5 回

- 1 開催場所 神戸大学 会議室
- 2 開催日時 平成 31 年 10 月 13 日(日)10 時 00 分から 11 時 00 分
- 3 出席者 (50 音順) 市村 英彦、大竹 文雄、宇南山 卓、川崎 能典、西山 慶彦、
福重 元嗣 (6 名)

【備考】台風接近のため、予定していた日時を急遽変更した。また、台風による欠席を母数から除外した。これによって、定足数は満たされている。

【議題】

(1) 議事録の確認

前回の議事録について、確認され承認された。

(2) 業務統計利用について

2019 年度の「骨太の方針」において「データの積極的活用に向けた公的統計の整備と EBP M の推進」が取り入れられたことが確認された。この今回の「骨太の方針」にあわせて留意事項をまとめ、分科会として意思を表出していくこととした。今後メール審議等で全委員の意見を聴取することとした。

(3) マスタープランの公募について

担当の北村委員が欠席となったため、今後のメール審議等で議論することとした。

(4) 統計問題に対する分科会の対応について

今後のメール審議等で議論することとした。

(5) 第 24 期に予定されている意思の表出について

上記の議題 2 で議論したテーマについて意思を表出することを確認した。表出時期は 2019 年度内を想定し、年内に原案を作成することとした。また、表出を予定していること

を西山委員長より事務局に報告することとした。

(6) 2020 年度日本経済学会チュートリアルセッションについて

平成32年に九州大学で開催される日本経済学会春季大会でのチュートリアルセッションについて、人選について検討した。出席者の議論により、マクロモデルの推計について北尾早霧さん（東京大学）と山田知明さん（明治大学）に依頼することを決定した。依頼については、宇南山委員が担当することとした。また、両者に引き受けてもらえない場合には、EBPMの実装に関して小林庸平・青柳恵太郎（ともに三菱UFJリサーチ）に依頼することとし、その場合には大竹委員が担当することが確認された。

(7) 学会時の分科会会場の確保，旅費について

現在、本分科会は日本経済学会の開催時にあわせて開催している。そのため地方開催が多くなっている。また、学会開催大学が会議室等の使用に関して使用料を徴収するケースが増えている。こうした事情に対応して会場の確保および必要な旅費の確保について、何ができるか事務局に確認することとした。

(8) その他

日本学術会議主催のシンポジウム「公的統計問題を学術の視点から考える」について告知があり、広報の依頼があった。